

子供の不安をやわらげるためにできること

ギャングエイジとは・・・

習志野市総合教育センター

子供の様々な変化に不安を抱える保護者の皆様へ・・・

小学校2～5年生くらいのお子様をもつ保護者から「最近、言葉遣いが悪くなった」「最近、反抗的になった。」等の相談がくるときがあります。もしかしたら、それはギャングエイジといわれる時期に入ったのかもしれない。

★ギャングエイジとは何？

- ・小学校3～4年生頃から見られる発達段階の一つです。子供同士の仲間意識が強くなり、同年齢の友達と閉鎖的な小集団を作ようになります。仲間内の価値観やルールが優先され、大人に対して反抗的になったり、うそをついたりする行動が目立つようになります。

★どんな行動が増えるの？

- ・グループに入れてもらえずケンカになる。仲間外れをつくる。
- ・グループのルールを守らないとシカトや仲間外れが起こるため、家族のルールよりもグループのルールを優先しようとする。
- ・親や先生との約束を破ったり、うそをついたりする。
- ・親に様子を聞かれることや一緒に出掛けることを嫌がる。



★なんでこんな行動をするの？

- ・子供たちは、グループの中で意見を主張しあいながら、どう折り合いをつけていくかや、子供同士の問題をどうやって解決していくかを学びます。これによって、子供は大人として生きていくための社会性や自立心を身に付けていきます。

★どう対応すればいいの？

- ・子供の変化に慌てず、自立する過程を見守る気持ちをもって子供に対応しましょう。
- ・子供の言葉を頭ごなしに否定せずに聞きましょう。そのうえで「でも、私は～と思うわよ」と大人としての意見を伝えて下さい。
- ・間違っていることはしっかりと叱ってください。子供に善悪の分別を身に付けさせるチャンスです。ただ、叱った後は、「あなたのことが大事だから言うのよ」等のフォローを忘れずに。
- ・仲間はずれの話聞いて、『いじめ？』と感じた時は「自分がされたらどう？」等、子供が答えを言えるような諭し方をしてください。『いじめられてるかも』と感じた時は、話を聞いてください。子供は素直に話さないかもしれませんが、「いつでも言ってね。あなたの味方だから」と寄り添ってください。



お子様の心の变化や登校渋り等でお困りの時は、総合教育センター教育相談を御利用ください。

総合教育センター 教育相談(047-475-8341) 青少年テレホン相談(047-475-7867)